



環境フォーラム
せんだい

2026 事業報告書

FEEL Sendai



環境フォーラムせんだい 2026

環境フォーラムせんだいは、身近な環境に関することをテーマに、市民、NPO、学校、事業者、行政などの多彩な仲間たちが、企画・運営しているイベントです。

来場者の皆様、特に今年度は未就学児を含む親子連れにも、楽しみながら環境について学び、環境にやさしい行動をするきっかけにさせていただきたいという思いで、各出展者が展示やワークショップをつくり上げたほか、全団体共同で周遊型の全体企画を実施しました。

開催概要

日時 : 2026年3月14日(土) 9:30~16:30

会場 : 仙台国際センター展示棟 展示室 3-B

主催 : FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)

共催 : 仙台市・仙台市教育委員会

企画・運営: 環境フォーラムせんだい 2026 実行委員会

来場者数: 4,900人 (仙台防災未来フォーラム 2026 来場者数)



実行委員会参加団体(順不同)

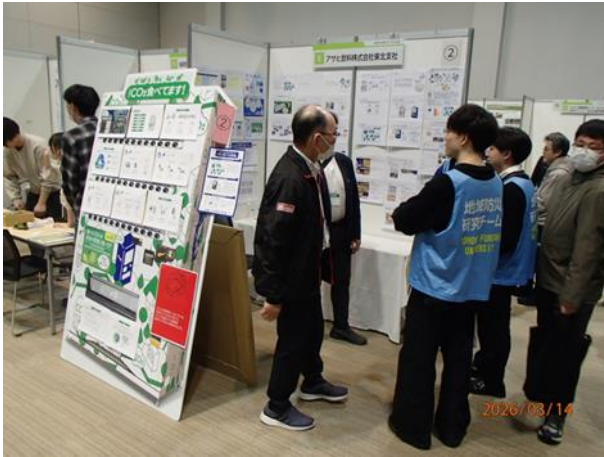
アサヒ飲料株式会社東北支社、尚絅学院大学人文社会学類 渡邊ゼミ、東北工業大学 環境サークルたんぽぽ、仙台青葉学院短期大学・とうほく食育実践協会、仙台 ECO 海洋動物専門学校、みやぎ環境カウンセラー協会、ワケルキャンパス(仙台市家庭ごみ減量課)、地球の子舎、せんだい E-Action、宮城県建築士会仙台支部、四ツ谷の水を街並みに!市民の会、みやぎグリーン購入ネットワーク、仙台リバーズネット・梅田川/NPO 法人水・環境ネット東北/雨水ネットワーク東北、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)/ストップ温暖化センターみやぎ、せんだい農業園芸センターみどりの杜/日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体、仙台市環境共生課、FEEL Sendai、NPO 法人環境会議所東北、仙台市教育指導課、環境日本一仙台を目指す市民の会、みやぎ生協、個人参加

目次

ブース 番号	展示タイトル	団体名	ページ
2	飲料メーカーとして現実的で継続可能な環境への配慮	アサヒ飲料株式会社東北支社	3
3	制服の残布がしおりに変わる！ アップサイクル体験	尚絅学院大学人文社会学類 渡邊ゼミ	
4	食育カードゲーム体験	とうほく食育実践協会	4
5	気候変動ジェンガ・ゲーム	仙台青葉学院短期大学	
6	森の野生動物を探してみよう！ 全問正解できるかな～？	仙台 ECO 海洋動物専門学校	5
7	環境の変化を楽しく学ぶ	みやぎ環境カウンセラー協会	
8	ワケルキャンパス活動報告とミニワークショップ	ワケルキャンパス（仙台市家庭ごみ減量課）	6
9	地球のために今私たちができること	地球の子舎	
10	3E(省エネ、創エネ、蓄エネ)について考えよう	せんだい E-Action	7
11	地球にやさしい住まいづくり(断熱材、断熱改修、新築、創エネ)	宮城県建築士会仙台支部	
12	伊達政宗が作った仙台の町を潤した用水路	四ツ谷の水を街並みに！市民の会	8
13	グリーン購入について一緒に考えよう	みやぎグリーン購入ネットワーク	
14	仙台天水桶とレインガーデン —水の循環を考えよう—	仙台リバーズネット・梅田川/NPO 法人水・環境 ネット東北/雨水ネットワーク東北	9
15	エネルギーをおこしてみよう！	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) /ストップ温暖化センターみやぎ	
16	身近な自然を楽しもう！	せんだい農業園芸センターみどりの杜/日比 谷アメニス・日比谷花壇共同事業体	10
17	「杜の都スタイル」ってなんだろう？	仙台市環境共生課	
1・18	全体企画：ミッションをクリアして楽しく学ぼう！ —環境アドベンチャー2026—	環境フォーラムせんだい 2026 実行委員会	11
	「こんな仙台に住みたいな」 環境絵画・ポスターコンクール表彰式	FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)	12

2 飲料メーカーとして現実的で継続可能な環境への配慮

アサヒ飲料株式会社東北支社



出展内容

ボトルtoボトルでの自治体との取り組みや、環境に配慮したラベルやCO₂を食べる自販機の展開などをご紹介します。

当日の様子

クイズラリーの出題に参加したこともあり、答えを求めて多くの家族連れの方に来ていただく事ができましたが、少々閑散としていた時間帯もあり、今回の来場客層に対しては何かワークショップ的なモノを実施しても面白かったのではという反省があります。

3 制服の残布がしおりに変わる!アップサイクル体験

尚絅学院大学人文社会学類 渡邊ゼミ



出展内容

制服の残布を活用した「しおり作り」を通して、アップサイクルの取り組みを紹介しました。捨てずに活用する視点を体験的に伝えるとともに、衣類廃棄量の多さについて来場者に理解を促す内容としました。

当日の様子

当日は小さなお子様を連れてご家族からご高齢の方まで、幅広い世代の方々にご参加いただきました。参加者の皆様は、色とりどりの残布を丁寧に選びながら、思い思いのしおり作りを楽しまれました。「制服の生地がこんなに素敵に生まれ変わるんだ」といった声も聞かれ、終始和やかな雰囲気イベントとなりました。

4 食育カードゲーム体験

とうほく食育実践協会



出展内容

カードゲームを通して、野菜について(旬の野菜、様々な野菜の花)理解を深めてもらう

当日の様子

多くの来場者に、カードゲームを体験していただきました。ゲームをしながら、「ごぼうは、こんな花をつけるんだね」、「じゃがいもの旬は、秋じゃなかった？」などの野菜に関する話題も弾んでいました。なかには、海外の方の参加もあり、ブース出展の意義を感じることができました。

5 気候変動ジェンガ・ゲーム

仙台青葉学院短期大学



出展内容

気候変動のしくみ、私たちの生活との関係について、ゲーム(気候変動ジェンガ)を通して理解してもらう

当日の様子

子どもから大人までゲームを楽しみながら、気候変動について学んでいただきました。ゲームをしながら、親子で自分たちの生活について話し合う様子が見られました。また、高校生や大学生も、ゲームを楽しみながら、気候変動について関心をもていただく機会になったと思います。

6 森の野生動物を探してみよう!全問正解できるかな~?

仙台 ECO 海洋動物専門学校



出展内容

野生動物の近くに小さな文字で種名が書いてあり、双眼鏡を使ってその文字を探してもらい、種名を当ててもらうゲームを実施しました。また、ニホンジカやオナガガモの標本や図鑑などを展示しました。

当日の様子

お年寄りからお子様の広い年齢層の方がゲームに参加してくださいました。展示物も多くの方に関心を持って頂き、野生動物についてのお話や、学校についてのお話などが出来ました。アクティビティの発想が良く面白いと楽しんで頂いた一方で、お年寄りの方やメガネ着用の方などに双眼鏡が使いにくいという声もあり、改善点が見られました。

7 環境の変化を楽しく学ぶ

みやぎ環境カウンセラー協会



出展内容

環境の変化に気づき、考えてもらうことを目的に、来場者一人ひとりに環境クイズに挑戦してもらいました。解説用の資料を作成し、掲示と手元用ファイルで分かりやすく説明しました。

当日の様子

ブースは角に配置され、動線を考慮してサイドパネルを撤去しました。用意した景品は早々になくなりましたが、その後もこどもから高齢の方まで多くの方(クイズ回答者:140名)に参加していただきました。満点を取って喜ぶ姿が印象的でした。今後も楽しく学べる企画を行っていきたいと思います。

8 ワケルキャンパス活動報告とミニワークショップ

ワケルキャンパス(仙台市家庭ごみ減量課)



出展内容

ワケルキャンパスが今年度取り組んだ活動をパネルにまとめ、紹介しました。また、ごみを簡単に拾うことができるオリジナルの便利グッズ、ミニカスタネットを作成するワークショップも実施しました。

当日の様子

片手でごみを拾うことができる「ミニごみひろいマシン」やペットボトルのフタと牛乳パックを再利用した「ミニカスタネット」の制作を体験してもらいました。ワケルキャンパスの活動内容を知ってもらうだけでなく、大学生とコミュニケーションを取りながら楽しくエコについて考えてもらう機会をつくることができました。

9 地球のために今私たちができること

地球の子舎



出展内容

地球温暖化を阻止するために私達が身近でできることを実践しています。
①植樹活動 ②ビーチクリーン
一見きれいに見える砂浜には、大量のプラスチックが埋まっています。

当日の様子

クイズ問題のため沢山の景品を用意しました。そのため、一度に多くのお客様が来られると、ブースが狭すぎて、クイズ問題対応と、展示パネルの説明の双方が中途半端になってしまいました。大変盛況ではありましたが、展示パネルをもっと見てもらうよう今後は改善が必要と痛感いたしました。

10 3E(省エネ、創エネ、蓄エネ)について考えよう

せんだい E-Action



出展内容

手回し発電機を用いて電車模型を走らせる展示や、電球が消費するエネルギーの違いを体感できる展示を行いました。また、脱炭素に関連した啓発パネルを展示したほか、参加者に緑のカーテンの種子を配布しました。

当日の様子

子どもたちが興味津々な様子で電車模型を走らせ、「今頑張って作っている電力が 1W で、普段使っている電子レンジは 500W 消費しているんだよ」と伝え、電気を作るのってこんなに大変なんだ、と驚いた様子が見られました。展示物を通じ、子どもから大人まで、エネルギーの大切さについて学んでもらうことが出来ました。

11 地球にやさしい住まいづくり(断熱材、断熱改修、新築、創エネ)

宮城県建築士会仙台支部



出展内容

宮城県建築士会仙台支部では、「地球にやさしい住まいづくり」をテーマにして、断熱材、断熱改修工事、新築工事、創エネとして太陽光発電、省エネ工事の補助金制度と、5つの方向からまとめてみました。

当日の様子

クイズラリーがありましたので、お子様も来場していただきました。お子様の場合、断熱材の材料が新聞紙で、環境にやさしいことや、学生さんには、太陽光発電による電気の自給、改修工事でも家を暖かくできることなど、来場者に応じて説明させていただきました。断熱材の材料のことなど、結構知らない方も多く、興味を持たれたようでした。

12 伊達政宗が作った仙台の町を潤した用水路

四ツ谷の水を街並みに!市民の会



出展内容

仙台の発展を支えた四ツ谷用水。もう一つの広瀬川と言われる用水の歴史と不思議を知り、環境にやさしい水の世界を知ってもらおう

当日の様子

スタンプラリーのカルタ遊びが来場者に話を聞いてもらえるきっかけになりました。江戸時代から昭和まで、生活の中に存在していた水路の用途や役割、現在もそのルートを利用して工業用水路として活躍している四ツ谷用水。政宗公の偉業と仙台の水環境のことを多くの方に関心を持ってもらえたと感じました。

13 グリーン購入について一緒に考えよう

みやぎグリーン購入ネットワーク



出展内容

グリーン購入について知ってもらうパネル展示と環境ガチャ「環境に良いお買い物〇×クイズ」を実施しました。正解者は、CLTのパーツを組み合わせて作る鉛筆立てをワークショップとして実施しました。

当日の様子

二つのコース「ワークショップ有と無し」に登録したため混雑もなく家族連れを中心に 100 名近くがブースを回ってくれました。CLTに初めて触れる方が多かったのか?、ワークショップ有に参加した方はCLTの構造に興味を示したり、杉の香りや木目の美しさを改めて感じていたようです。パーツを木工ボンドで貼り付けるだけの簡単なワークショップだったので製作中に環境について話す機会が出来たことがとても喜ばしかったです。

14 仙台天水桶とレインガーデン ―水の循環を考えよう―

仙台リバーズネット・梅田川/NPO 法人水・環境ネット東北/雨水ネットワーク東北



出展内容

天水桶（雨水タンク）の実物とレインガーデン（雨庭）の模型を使った紹介、環境や防災関連ポスターなどを展示した。

当日の様子

環境アドベンチャーマップを持ってこられた方を中心に、雨水と水道水の「どっちが泡立つ？」クイズ、および雨庭模型にある天水桶の数を数えていただきました。クイズを通して、天水桶の実物も見てもらいながら、雨水の特徴についてや、雨庭の目的・効果についてお話をすることができて良かったです。

15 エネルギーをおこしてみよう!

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) / ストップ温暖化センターみやぎ



出展内容

手回し発電機による発電体験と環境活動や気候変動を知っていただくパネル展示をおこなった。

当日の様子

お子様を中心に手回し発電機で電気を起こしおもちゃを動かす体験をしてもらいました。仕組みはわからなくても、自分で電気を起こしていると実感してもらえたと思います。また、仙台市の8月の気温が10年でどのくらい上がったかをパネル展示しましたが、猛暑日、夏日を色で掲示したので一目瞭然の変化に驚いていました。

16 身近な自然を楽しもう!

せんだい農業園芸センターみどりの杜/日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体



出展内容

みどりの杜の自然環境と身近な自然物(植物)を使ったワークショップをとおして、自然環境に親しみ、暮らしに活かしてもらいます。

当日の様子

オリジナル額装づくりは、毎年人気があり、本年も、昨年より多くの方に、身近な自然で楽しんでいただきました。昨年に比べ、開催時間内、まんべんなく体験していただいた様子でしたが、こどもが少なかったと感じました。身近な自然でも気軽に体験できるとともに、身近な自然(植物他)に目を向ける機会となったと考えます。

17 「杜の都スタイル」ってなんだろう?

仙台市環境共生課



出展内容

環境にやさしい行動や身近な自然に親しむ「杜の都スタイル」を広めるため、コンテスト受賞作品や杜の都の生物多様性をご紹介します。

当日の様子

全体企画と連動したクイズ企画「これ、だれのこえ?」では、こどもと一緒に大人も興味津々で参加する姿が見られました。正解発表のたびに驚きや納得の声が上がるなど、楽しみながら仙台の生き物への理解を深めていました。また、Instagram フォロー特典として実施した生きものブロック消しゴムのプレゼントも好評で、SNS を通じた「杜の都スタイル」の情報発信にもつながりました。

1・18 全体企画: ミッションをクリアして楽しく学ぼう! -環境アドベンチャー2026-

環境フォーラムせんだい 2026 実行委員会



出展内容

環境フォーラム参加団体の各ブースを回り、クイズやワークショップといったミッションに挑戦することで環境について学んでもらい、最後に今日から取り組みたいことを考え記入してもらう「かんきょうの木」企画を実施しました。

当日の様子

当日は、家族連れをはじめとした多くの方に「環境アドベンチャー」に参加していただきました。複数のブースを回っていただくことで、環境フォーラム全体の一体感と賑わいをつくることができました。また、企画を通じて出展者と来場者が交流している様子も見られました。「かんきょうの木」には「環境アドベンチャー」で学んだことを踏まえたコメントも多数あり、環境について考えていただく機会にすることができました。

「こんな仙台に住みたいな」環境絵画・ポスターコンクール表彰式

FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議)



発表内容

FEEL Sendai (杜の都の市民環境教育・学習推進会議) 事業の「『こんな仙台に住みたいな』環境絵画・ポスターコンクール」受賞作品の表彰式、そしてせんだい環境ユースカレッジの認定証授与式を行いました。

当日の様子

表彰式開始直後はみなさん緊張した面持ちでしたが、ひとりひとり作品にこめた思いをしっかりと話していただきました。こんな仙台に住みたいな、仙台がこんな街になったらいいなとたくさん考えて制作して下さったことがとても伝わってきました。また、ユースカレッジでドクターとして認定された方への認定証授与式も行い、環境について学ぶこと、そして行動に移すことの大切さを知っていただく機会にすることができました。